

議 事 録

件 名	第 1 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会	
日 時	2025 年 6 月 24 日（火）10:30～11:40	
場 所	町田第三小学校西校舎 2 階 会議室	
出席者	委員	町田第二地区町内会・自治会連合会
		グランリビオ町田ガーデンコート自治会
		新小田急住宅自治会
		千代ヶ丘自治会
		東ヶ丘住宅自治会
		日向台自治会
		本町田町内会
		本町田宿自治会
		弥生ヶ丘自治会
		町田市青少年健全育成本町田地区委員会
		町田市民生委員児童委員協議会町田第二地区
		※ 首都高速道路自治会 欠席
	町田市	政策経営部企画政策課
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事次第 ・ 【資料 1】 町田第三小学校跡地活用連絡協議会の設置について ・ 【資料 1 別紙】 町田第三小学校跡地活用連絡協議会要領 ・ 【資料 2】 委員名簿 ・ 【資料 3】 町田第三小学校跡地活用検討について ・ 【資料 3 別紙】 町田第三小学校跡地活用の方向性（素案） ・ 【資料 4】 ワークショップ実施記録 ・ 【参考資料】 投影資料、席次、ワークショップ参加者募集チラシ 	
議事録	<p>市：ただいまより「第 1 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会」を開催する。初めに、事務連絡となるが、本日の連絡協議会は、記録作成のため、録音、写真撮影をさせていただきたくので、ご了承いただきたい。次に、配付資料は資料 1 から 4 の 5 点と、参考として、投影資料、席次、ワークショップ参加者募集チラシの 3 点を配付している。次に、本日の連絡協議会の進め方だが、事務局より、次第に沿って説明させていただき。最後に意見交換の時間も設けているが、質問や意見などがあれば、いつでも遠慮なく発言をいただきたい。なお、会の終了時刻は 11 時 30 分頃を予定している。</p> <p>< 1 はじめに ></p> <p>▶ あいさつ（町田市）</p> <p>市：本日は本連絡協議会にお越しいただき、感謝申し上げます。町田市では、現在、「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づき、新しい学校づくりを進めている。この取り組みにより、この町田第三小学校は、2028 年度に学校跡地となる予定である。そのため、跡地となった後の、次の使い方について、本町田地区の新たな学校づくりの検討と併せて、2022 年度から検討を進めてきた。特に昨年度については、アンケートやワークショップを行い、地域の皆様から、跡地活用に向けた意見を具体的に伺った。アンケートへの回答やワークショップへの参加など、みなさまにご協力いただき、感謝申し上げます。本日は、これまでの検討状況をお伝えするとともに、ワークショップなどでの意見を踏まえて市で検討した、活用の方向性の素案について、意見をいただければと考えている。委員の皆様をはじめ、地域の皆様にとって、この学校は、災害時の避難施設や地域の活動の場として、身近な場所であると思う。この連絡協議会を通じて、これからも地域に愛される場所となるように、活用に向けた検討を皆様とともに進めていきたいと考えている。</p> <p>▶ 本連絡協議会設置の趣旨（町田市）【資料 1】・【資料 1 別紙】 【資料 1】、【資料 1 別紙】について市から説明</p> <p>▶ 本連絡協議会出席者の紹介【資料 2】</p> <p>※氏名、所属のほかには発言のあった委員については、以下のとおり。 委員：自宅が町田第三小学校の目の前にある。跡地活用の検討に関心があり、昨年度ワークショップにも参加した。みなさんのご意見も聞きたい。</p>	

委員：子どもが町田第三小学校に通っている。跡地活用に興味がある。
 委員：昨年度ワークショップに参加して、子どもが楽しめるものができるようでワクワクしている。楽しんで議論に参加したい。
 委員：昨年度ワークショップに参加した。子どもや高齢者などみんなにとって良いものができるよう参加したい。

< 2 町田第三小学校跡地活用の検討について【資料3】・【資料3別紙】・【資料4】 >
 【資料3】、【資料3別紙】、【資料4】について市から説明

< 3 意見交換 >

委員：学校の東側に隣接する林が宅地開発で伐採された。跡地活用に際して影響はあるか。

市：跡地活用の方法そのものに対しての影響はないと思うが、住宅が敷地の近くまで建つ場合には、音の問題など、使用方法で気を付ける部分が出てくる可能性はある。

委員：なかよし橋について、より校舎側に寄ってくるなど、位置が変わるといったことはあるのか。

市：跡地活用の方法にあわせて入口の位置を変える、広くするといったことは考えられる。

委員：斜面地を遊び場として活用していくことはありえると思うが、貴重な植物が生えている可能性もあると思う。活用にあたり調査等をするのか。貴重な植生は保護したほうが良いと考える。

市：当該斜面地の調査状況については確認し、今後の対応について検討したい。

委員：隣接地の林がなくなったことで、南風が直に敷地内樹木に当たることになった。木も老朽化しているので、現在の樹木をそのまま残せるかについては検討課題になると思う。

市：整備する際に、残す必要のある木なのかどうかについても検討したい。

委員：宏善寺によれば、町田第三小学校の歴史は、明治6年に昭明学舎として開校してから、152年にもなる。この歴史遺産は非常に重要である。跡地活用するうえで歴史について学べる場所を残してほしい。この点はコンセプトに盛り込んでほしい。

市：歴史の継承の重要性については、ワークショップでもご意見をいただいた。例えば石碑など、ここが町田第三小学校だったという歴史は残していきたい。一方で、歴史継承の方法として、展示室をつくれるかといった点はまた別の議論だと認識している。歴史を皆様の目に触れる形でどう残していくかについて検討したい。

委員：宏善寺の寺子屋から始まり、昭明学舎、陶化学校となり、今の町田第三小学校に至る。

委員：町田第三小校を卒業した。跡地活用について地域で話をしたところ、野球やサッカーなど、子どもたちが遊べる場を残してほしいという意見があった。また、芝生は管理が難しいと思うので、よく意見を聞きながら進めてほしい。

市：ご指摘のとおり、綺麗な芝生を管理するには維持管理費がかかり、養生中のエリアも常に出てくるなど、管理の難しさがある。芝生の整備範囲や種類などは今後検討していきたい。

委員：昨年度のワークショップにおいても、現在のグラウンドを使用している野球団体の行き場がなくなることを懸念する意見が出ていた。

市：スポーツ団体のグラウンド利用については素案に含んでいないところだが、学校統合を踏まえた地域スポーツの活動場所についての考え方の整理はスポーツ担当部署が進めている。町田第三小学校跡地においてどうするかについても、庁内連携しながら検討したい。

委員：町田第三小学校は本町田の中心に位置する。避難場所にもなっている。盆踊りなど、ここに来ればみんな集まるようなイベントができる場所となしてほしい。町田第三小学校の歴史や昔が偲べるような、ほっとできる場所も残していただきたい。

市：一部の団体が専有的に利用するとなると、地域のイベントには使えなくなる。跡地活用の方向性の素案にもまとめたように、様々なことができるような広場の使い方ができることは大事だと考えている。

委員：避難場所の説明があったが、避難がメインではなく、備蓄物資が置いてあるような施設を想定しているのか。建物への要望はどの程度聞いてもらえるか。地域の高齢化を踏まえた避難のしやすさも考慮してほしい。大きな建物は建てる予定はないとの話だったが、中途半端なものになっては安心して避難できない。他にも子ども

たちの居場所としても、暑さからの避難場所としても建物は必要。建物の検討はもう少し必要ではないか。

市：建物の規模については、まだ十分な検討が進んでいない。体育館をつくることはしないものの、どのくらいの大さが必要かという、使い方が決まっていなため決まっていな。次の段階の議論だと考えている。また、暑さをしのぐという視点はこれまでの議論には無かった。ご意見を踏まえながら検討していきたい。

委員：卒業生がここに通っていたと偲べる場所、中学生、高校生になった時に思い出せる場所は必要だと思う。

市：今後、建物の中身の検討を進めていきたい。

委員：町田第三小学校を卒業した中学生と高校生の子どもがいる。方向性の素案は子どもや高齢者の意見が主に反映されたものであり、間の世代の意見が抜けていると思う。そのような年代の子どもたちがどのような活用に魅力を感じてくれるか、アンケートを取り、ここに来たいと思えるような魅力は何かを聞いてほしい。

市：何かあった時にはここに来ればよいと思ってもらえる施設が必要だと考えている。子どもと高齢者の間の世代の意見聴取の方法については考えたい。

委員：学校の生徒にアンケートに回答してもらえばよいのではないか。

委員：ゾーニングについて確認だが、現校舎などの建物は再利用する可能性があるのか。

市：学校統合は建物の老朽化が一因でもあり、跡地の建物は原則取り壊すことが前提となっている。昨年度のワークショップでも解体を前提として検討していただいた。建物の健全化調査は行っておらず、特に町田第三小学校は閉校時には築60年を超え老朽化が著しいことから、基本的に取り壊すこととしている。

委員：地域で防災委員を務め、本町田東小学校で避難訓練をしてきた。地域住民に必要な分の備蓄物資を用意しようとするとかかなりの規模が必要だと思う。現時点ではどの程度備蓄するかは決まっていなということか。

市：この跡地にどれくらいかの備蓄量が必要かに関しては、防災部署と連携しながら検討する。跡地に導入すべき避難施設機能の検討と並行して進めていく。

委員：予算について、アイデアを詰め込むと予算がかかる。解体費も含めると、多くの費用がかかると思う。防災機能を優先しながら、その他の機能にお金を回せるのか。予算はいつ分かるか。

市：行政では、実施する事業を先に決め、かかる予算を要求していく。

委員：予算が通らなこともあるはず。夢を詰めた活用案が叶えられなのは寂しい。いつ頃に具体的なことが分かるようになるのか。

市：設計等を2027年度から予定しているので、前年度の2026年度に予算を要求することになる。予算が取れるようしっかりと説明していきたい。

市：民間事業者に収益をあげてもらい、市の財政負担を軽減するという方法もある。

委員：モノレール推進の会議にも出席しているが、学校の統廃合が進む中、人口が増えたらどうするのかという意見も出ていた。町田第三小学校跡地以外に、市内で跡地活用を検討する事例は他にあるか。

市：他にも南成瀬や鶴川地区で学校統合が進んでいるが、跡地となる南成瀬小学校は不登校傾向の子どもが通う「学びの多様化学校」とする活用が決まっている。跡地活用の内容を初めから検討しているのは現在町田第三小学校だけである。この活用が今後の学校跡地活用のモデルケースになるため、市としても頑張りたい。

委員：昨年度のワークショップの案が実現すると、とても良いと思う。欲を言えば、地域住民がどう思っているかは分からないが、個人的にはスケボーやボルダリングができるとより良いと思う。今の案は、近くにある四季彩の杜やひなた村とコンセプトが被る部分もある。次世代、未来の子どもたち向けの施設であれば、スケボーやボルダリングがあっても良いのではないか。初級や中級のコースなら整備できるかなどの検討をしてほしい。

市：北側の斜面の下のエリアは、目的をもって訪れることができる施設にしていきたい。民間事業者のアイデアも聞きながら内容を検討していきたい。

委員：ひなた村とコンセプトが被るという点は同意見である。近隣の施設との差別化を図るといった視点で、インターネット環境を整え、ネットが苦手な高齢者に若い人が教えるといった多世代交流などができると素敵ではないか。

市：建物の中で何ができるとかという、ソフトに関しては、今後更に検討が進む中で考えることになる。ご意見を多くいただけると、検討の幅が広がり、助かる。

<事務連絡>

市：次回の本連絡協議会は、9月19日（金）を予定している。時間、場所は今回と同じく、10:30-11:30に町田第三小学校西校舎2階会議室となる。

以上